

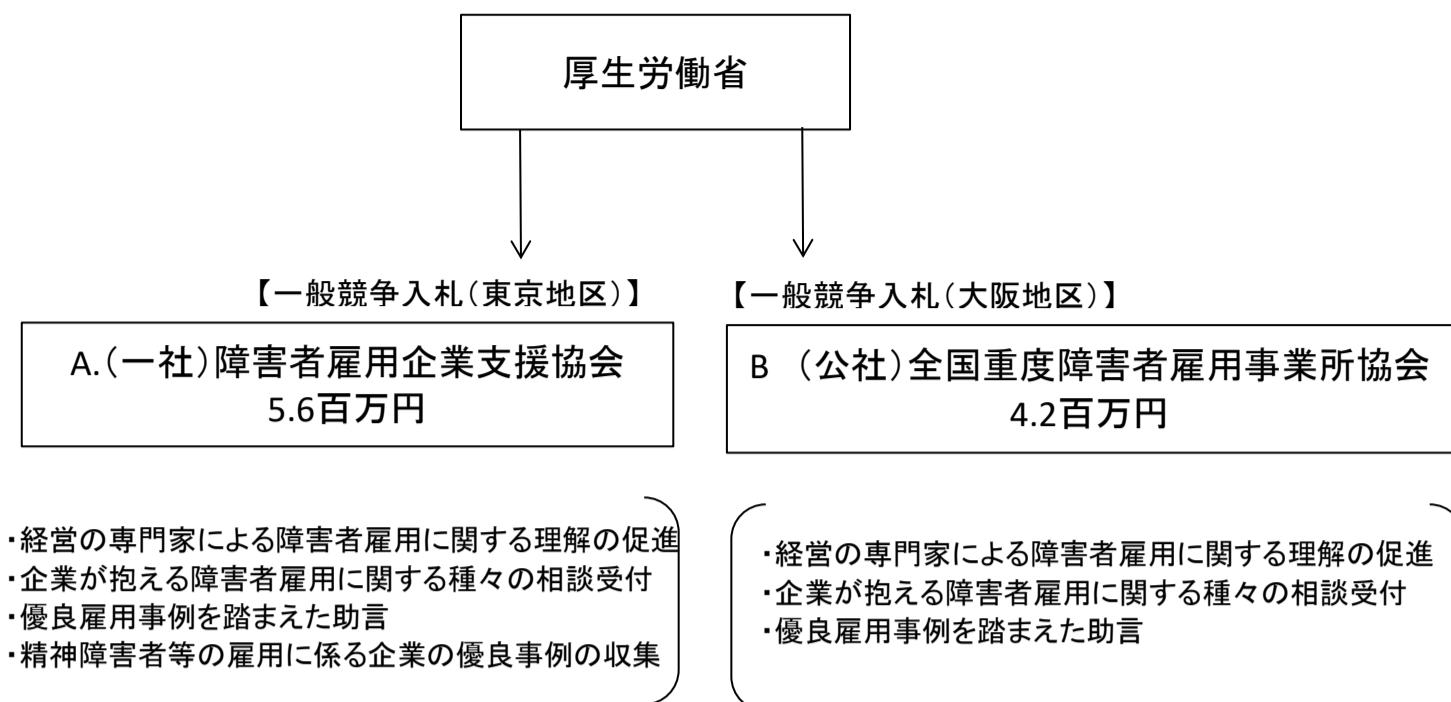
平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	中小企業等に対する障害者雇用相談支援、啓発事業			担当部局	職業安定局雇用開発部		作成責任者								
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	障害者雇用対策課		障害者雇用対策課長 尾崎 俊雄								
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定														
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号			関係する計画、 通知等	—										
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障										
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成28年4月からの雇用分野における障害者差別禁止及び合理的配慮の提供義務の施行、平成30年4月からの精神障害者が法定雇用率の算定基礎への追加により、企業における障害者雇用に係る負担が増大することが見込まれているため、本事業の実施により、障害者差別禁止及び合理的配慮の提供義務への対応を始めとする障害者雇用に関する課題への相談支援体制の整備を図る。														
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	国から民団団体等への委託により、東京地区及び大阪地区において障害者雇用に関する専門相談窓口を設置し、窓口での相談や企業訪問により、障害者差別禁止及び合理的配慮の提供義務への対応を始めとする企業が抱える課題に対して経営の専門家によるコンサルティングを行う。														
実施方法	委託・請負														
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求										
	当初予算	—	26	24	17	77									
	補正予算	—	—	—	—										
	前年度から繰越し	—	—	—	—										
	翌年度へ繰越し	—	—	—	—										
	予備費等	—	—	—	—										
	計	0	26	24	17	77									
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	執行額	—	12	10											
	執行率(%)	—	46%	42%											
	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度						
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	相談を受けた事業主の課 題を解決した割合を90%以 上とする。	事業主からの評価の割合	成果実績	%	—	100	100	—	—						
			目標値	%	—	90	90	—	90						
			達成度	%	—	110	110	—	—						
単位当たり コスト	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込							
	事業主から受けた相談の件数	活動実績	件	—	477	497	—								
			当初見込み	件	—	430	500	500							
			算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
単位当たり コスト	単位当たりコスト = 25千円(Y/X)			単位当たり コスト	千円	—	24	20	33						
	X:「執行額(千円)」 Y:「事業主の課題を解決した件数(見込み)」			計算式	/	—	11,549千円/477	9,854千円/497件	16,958千円/500件						
平成 28 位 2 9 年 度 百 万 円 度 予 算 内 訳 (単)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由											
	高齢者等雇用安定促進事 業委託費	17	77	相談窓口の設置箇所数の増加、障害者雇用に課題を持つ事業主に対する講習会の開催等を実施することによるもの。											
	計	17	77												

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	労働者等の特性に応じた雇用の安定・促進を図ること										
	施策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること										
	測定指標	定量的指標		/	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度			
		公共職業安定所における就職件数(障害者)		実績値	件	77,883	84,602	90,191	-			
				目標値	件	68,321	77,883	84,602	90,191			
		定量的指標		/	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度			
		精神障害者雇用トータルサポートの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合		実績値	%	69.3	69.1	71.6	-			
				目標値	%	60	69.3	65	68			
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
本事業の成果が上位施策の測定指標となっている。												
アクリション・財政再生プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			/	単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度			
					成果実績	-	-	-	-			
					目標値	-	-	-	-			
	(第二階層) KPI	達成度			%	-	-	-	-			
					計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
					成果実績	-	-	-	-			
	(第二階層) KPI				目標値	-	-	-	-			
					達成度	%	-	-	-			
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										

事業所管部局による点検・改善											
項目		評価	評価に関する説明								
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○ 本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、国民ニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○ 本事業は、障害者雇用の促進に向けて、中小企業を中心に障害者雇用に係る相談支援を行うものであり、民間団体の活用を図りつつ、国が実施すべき。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。										
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○ 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無 一般競争入札を実施しており、競争性が確保されている。							
	競争性のない随意契約となったものはないか。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	必要最低限の経費であり、水準は妥当である。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業に必要なものに限定されている。							
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一般競争入札による入札差額であり、妥当である。							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-								
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績は目標以上の実績となる見込みである。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-								
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものである。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-								
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	当該事業は障害者雇用の実績がない中小企業等を主な対象として、精神障害者等の雇用についての専門相談窓口を設置し、企業が抱える障害者雇用に関する課題等に対するコンサルティングを実施するものであり、セミナーやモデル事業を行う左記事業とは事業の内容及び対象が異なるものである。							
点検・改善結果	点検結果	本事業は相談を受けた事業主から「課題を解決した」旨の評価の割合が目標値の90%を大きく上回っていることから、本事業の事業効果は計画以上にあげており、障害者の雇用促進に向けて中小企業を中心に精神障害者等の雇用に係る普及啓発を図っていくという目的を果たしているものと考える。									
	改善の方向性	今後も引き続き当該事業を実施する必要がある。									
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見											
現状通り	成果実績は目標を上回っており、引き続き、障害者の雇用促進に向けて中小企業を中心に精神障害者等の雇用に係る普及啓発を図るための必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。										
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。										
備考											
関連する過去のレビューシートの事業番号											
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度							
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度 585							

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



支出先上位10者リスト

A

A.	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式	入 札 者 数 (応募者 数)	落 札 率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となつた 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一社)障害者雇用 企業支援協会	8010005016165	経営の専門家による障害 者雇用に関する理解の促 進等	5.6	一般競争入札	4	36%	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式	入 札 者 数 (応募者 数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 随 意 契 約 と な つ た 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1	(公社)全国重度障害者雇用事業所協会	6010005015961	経営の専門家による障害者雇用に関する理解の促進等	4.2	一般競争入札	1	57%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト